

第48回（平成30年度）
高等学校ラジオ作品コンクール
ご案内

〈平成30年度〉

第48回 高等学校ラジオ作品コンクールの手引

は じ め に

東海ラジオ放送では、文部科学省、中部9県教育委員会、一般社団法人日本民間放送連盟の後援を
いただいて「高等学校ラジオ作品コンクール」を実施して参りました。このコンクールは昭和47年
(1972年)に始まり、今年度で48回目を迎えます(初年度のみ2回実施)。これまでの番組制作部
門参加校は2,155校にのぼります。また、29回目を迎えるアナウンス部門の参加者は2,620名になり
ました。

長年の実績に対し、平成6年度に厚生省中央児童福祉審議会から「児童文化財」に推薦されました。
これは、多くの先輩方や顧問の先生方のご協力の賜物でもあります。

そして今年度も、番組制作部門とアナウンス部門の2部門でコンクールを実施いたします。ドラマ・
録音構成など、10分間の番組を作るには大変な努力が必要となりますが、表現力と社会を見つめる
多角的な視点を養いチームワークの大切さを実感できるまたとない機会です。また、アナウンス部門
では、ぜひ日本語の美しさも再認識してください。

詳細は次のページ以下をご覧ください。番組制作部門の最優秀賞および優秀賞受賞作品と、アナウ
ンス部門最優秀者および優秀者のアナウンスは、東海ラジオで放送する予定です。

多くの皆様のご参加を心からお待ちしています。

《目的》

このコンクールは、放送作品の制作を通じて、高校生の感性を磨き、創造力と表現力を養い情操教育に役立てるとともに、放送文化への理解を深めようとするものです。

♪番組制作部門♪

1 ◆作品

- 作品の種別はドラマ・録音構成など自由ですが、脚本・構成は在校生の創作によるものとします。
- テーマは、日常の高校生活の中から自由に見つけてください。

創作（演出、演技、アナウンス、ミキシング）は、すべて在校生自身の手によるものとします。

- 下記の要領に従い、作品の長さは10分以内に仕上げてください。

※10分を超えた場合は審査対象になりません。

♪録音の仕方♪

〇〇高等学校制作 「△△（タイトル）」	空白 5秒	番組（中身） 約10分	空白 5秒	〇〇高等学校制作 「△△」を終わります
------------------------	----------	----------------	----------	------------------------

- 参加は1校1作品とします。
- 作品の締め切は平成30年10月4日（木）必着

《あて先》

〒461-8503 東海ラジオ放送 制作局

「高等学校ラジオ作品コンクール係」（住所不要）



- 作品はCD-Rに「オーディオCD」として提出してください。これ以外の形式で提出された場合は、内容に拘らず失格となります。応募作品については録音内容を必ずチェックして提出してください。
- 提出作品のケースには「**番**」と明記、学校名・番組タイトルを記載してください。作品本体にも必ずお願いします。また実施要項（8ページ）の書類を1部とCUEシートを必ず添付してください。
- 番組のBGMや効果音に市販のレコード・CDの音源（楽曲など）を使用した場合は、使用楽曲一覧表（10ページ）にレコード会社・番号、CDタイトル、曲名、演奏者名がわかるように記載し添付してください。（自作自演して自分たちで録音したオリジナルのものについては記載の必要はありません）
- 制作に要する費用は各校の負担となります。
- 受賞作品の著作権および放送に関する一切の権利は、東海ラジオ放送に帰属するものとします。
- 他のコンクールに出品したもので、入選作品以外のものであれば、その作品をもとに改めて制作したのも応募できます。

2 ◆審査

- 審査は専門委員（愛知・岐阜・三重、各県教委視聴覚教育担当責任者）と社内委員（東海ラジオ放送委員）とで構成する審査会で行います。

3 ◆発表

- 審査結果は、12月中旬に東海ラジオ放送HP、および中日新聞紙上で発表し、参加各高等学校には文書で通知します。

4 ◆表彰

- *最優秀賞／1校*……文部科学大臣賞 日本民間放送連盟賞 東海ラジオ放送賞 三協賞
 - *優秀賞／3校*……日本民間放送連盟賞 東海ラジオ放送賞 三協賞
 - *特別賞*……東海ラジオ放送賞 三協賞
- ※該当校なしの場合もあります

5 ◆表彰式

- 表彰式は受賞校の関係代表者を招き、平成30年12月14日（金）（予定）に東海ラジオ放送で行います。
- 受賞のため来社される関係者（生徒代表1名と指導教諭1名）の通常の公共交通機関（タクシー利用は自己負担）による旅費実費は主催者側で負担します。

6 ◆受賞作品の放送

- 東海ラジオ放送で、受賞作品（最優秀賞1校、優秀賞3校、特別賞）とアナウンス部門（最優秀賞1名、優秀賞3名）を平成30年12月下旬（予定）に放送します。

♪アナウンス部門♪

1 ◆作品

- 応募者自身が書いた原稿（A）を、2分以内でアナウンスしてください。テーマは、日常の高校生活の中から自由に見つけてください。
- 課題文（B）を朗読してください。（原稿は12ページに添付）
- 下記の要項でA・Bを続けた録音メディアを提出してください。録音メディアは、CD-Rをお使いください。

♪録音の仕方♪

〇〇高等学校 △△（名前）です	A (2分以内)	朗読 「〇〇（タイトル）」	B (課題文)	朗読を終わります
--------------------	-------------	------------------	------------	----------

- 参加は1校3名までとします。録音メディアは必ず1名1枚。
- 作品の締め切り、郵送の宛先、著作権などについては、番組制作部門と同じです。
- 提出のCD-Rのケースには「㊦」と明記、学校名、名前を記載してください。CD-R本体にも必ずお願いします。また、実施要項（11ページ）の書類を必ず添付してください。
CD-Rに「オーディオCD」として提出してください。これ以外の形式で提出された場合は、内容に拘らず失格となります。
例年、録音が悪く聞き取りにくい作品が見受けられます。応募作品については、録音内容を必ずチェックしてから提出してください。

2 ◆審査・発表

- 番組制作部門と同じです。

3 ◆表彰

- *最優秀賞／1名*……日本民間放送連盟賞 東海ラジオ放送賞 三協賞
- *優秀賞／3名*……日本民間放送連盟賞 東海ラジオ放送賞 三協賞
- ※該当者なしの場合もあります

4 ◆表彰式・受賞作品の放送

- 番組制作部門と同じです。

《夏期講習会のご案内》

●高校ラジオ作品コンクール参加予定高校対象の講習会を、東海ラジオ放送本社で行います。

《日 時》7月28日（土） 午前10時：番組部門

午後 1 時：アナウンス部門

参加希望校は、希望部門（両方参加可）をフォーマットに記入の上、郵送またはWEBサイトから応募してください。

締切は6月30日（土）必着です。なお、希望者多数の場合は抽選となりますのでご了承ください。

《あて先》〒461-8503 東海ラジオ放送 制作局

「高校ラジオ作品コンクール 夏期講習 係」



主 催

東海ラジオ放送株式会社

後 援

文 部 科 学 省

愛 知 県 教 育 委 員 会

岐 阜 県 教 育 委 員 会

三 重 県 教 育 委 員 会

静 岡 県 教 育 委 員 会

滋 賀 県 教 育 委 員 会

福 井 県 教 育 委 員 会

石 川 県 教 育 委 員 会

富 山 県 教 育 委 員 会

長 野 県 教 育 委 員 会

日 本 民 間 放 送 連 盟

協 賛



美しい水を求めて
株式会社

三 協

《第48回高等学校ラジオ作品コンクール 夏期講習会申し込み》

●学 校 名

●住 所

●T E L

●引率教諭名

●メールアドレス

●参加予定 ・番組制作部門 () ・アナウンス部門 () ・両方 ()

※カッコ内に○を付けてください。

番 組 部 門	
生徒名(ふりがな)	学 年
()	
()	
()	
()	
()	
ア ナ ウ ン ス 部 門	
生徒名(ふりがな)	学 年
()	
()	
()	
()	
()	

《参加締切》6月30日(土) 《講習会》7月28日(土)

※希望者が多数の場合は抽選になりますのでご了承ください。

◇ 第47回高等学校ラジオ作品コンクール入賞校 ◇

《番組制作部門》

最優秀賞 長野県松本深志高等学校 「3年の縛り」

優秀賞 相山女学園高等学校 「自分らしく生きるために～見えていない13人に1人～」

〃 西宮市立西宮高等学校 「脚本家とパソコン」

特別賞 桜丘高等学校 「名前の由来」

〃 静岡県立沼津東高等学校 「学校裁判」

〃 浜松市立高等学校 「うちのカリヨンが鳴りません」



《アナウンス部門》

最優秀賞 長谷川 友 李 (富山県立桜井高等学校)

優秀賞 松 本 彩 花 (浜松市立高等学校)

〃 神 子 周太郎 (富山県立桜井高等学校)



第48回高等学校ラジオ作品コンクール
(番組制作部門)

ふりがな	
タイトル	
学 校 名	
学校所在地	〒 電話番号 (— —)
指導教諭名	
連絡先 (アドレス又は携帯)	
1. 制作スタッフおよび出演者	
脚 本	
演 出	
出 演 者	
2. 番組について (番組のねらいと内容について200字以内にまとめる)	

使用楽曲一覧表

タイトル

学校名

番号	曲名	①作詞者名	①歌手名	レコード 会社	CD番号	使用時間	使用目的 (○をつけてください)
		②作曲者名	②演奏者名				
1		①	①				通常・テーマ・背景
		②	②				
2		①	①				通常・テーマ・背景
		②	②				
3		①	①				通常・テーマ・背景
		②	②				
4		①	①				通常・テーマ・背景
		②	②				
5		①	①				通常・テーマ・背景
		②	②				
6		①	①				通常・テーマ・背景
		②	②				
7		①	①				通常・テーマ・背景
		②	②				
8		①	①				通常・テーマ・背景
		②	②				
9		①	①				通常・テーマ・背景
		②	②				
10		①	①				通常・テーマ・背景
		②	②				
11		①	①				通常・テーマ・背景
		②	②				
12		①	①				通常・テーマ・背景
		②	②				
13		①	①				通常・テーマ・背景
		②	②				

第48回高等学校ラジオ作品コンクール
(アナウンス部門)

学 校 名		
学校所在地	〒	
ふりがな	電話番号 (- -)	学 年
アナウンス 担当者		年 生
指導教諭名		
連絡先 (アドレス又は携帯)		

○ 応募者自身による原稿の全文

アナウンス部門 朗読原稿

海も空も地の上も戦火から解放された終戦翌年の四月四日、この日朝はやく、一本松の村をこぎだした一隻の伝馬船は、紺がすりのモンペ姿のひとりのやせて年とった小さな女を乗せて、岬の村の方へ進んでいった。静かな海に霧はふかくたちこめていて、岬の村は夢のなかに浮かんでいるようにみえたが、やがてのぼりはじめた太陽に醒まされるように、その細長い姿を、しだいにくつきりと、あらわしはじめた。

「あ、ようやつと晴れだした」

まだ十二、三と見える船頭は、小さなからだ全体を動かして櫓を押しすすめながら、まだ遠い岬の村に眺めいった。目ばかりかがやいているようなその男の子に、同じように岬の村に目を見はつていた女は、いとおしむような声で話しかけた。

「岬、はじめてかい、大吉？」

みかけによらず、若い声である。

「うん、岬なんぞ、用がなかったもん」

ふりかえりもせず、答えた。

「そうじゃな。お母さんでさえ、ずつとくることなかったもんなあ。岬というところは、そんなとこじゃ。あれから十八年！ ほう、ふた昔になる。お母さんも年よせだはずかいな」

なんとそれは、大石先生の、ひさしぶりの声と姿である。今日、彼女は十三年ぶりの教職にかえり、しかも今、ふたたび岬の村へ赴任するところなのだ。まえには自転車に乗ってさつそうとかよっていた先生も、今ではそんな若さがなくなったのであろうか。ところが、そうばかりではなかったのだ。戦争は自転車までも国民の生活からうばいさつて、敗戦後半年のいま、自転車は買うに買えなかった。岬へ赴任ときまつたとき、はたと当惑したのはそれだった。途中まであつたバスさえも、戦争中になつたまま、いまだに開通していない。昔でさえも、自転車でかよつた八キロの道は、歩いてかようしかなかった。とらてい、からだのつつくはずがないと考へて、母子三人岬へ移ろうかといひだしたとき、一言で反対したのが大吉だった。船でおくり迎えをするというのだ。船だとして借りるとすれば、相当の礼もしなければならぬ。

「雨がふつたら、どうする？」

「そしたら、お父さんの合羽きる」

「風の強い日は、こまるでないか」


「……………」

「あ、心配しなさんな。風の日も歩いていくよ」

返事につまつた大吉を、いそいで助けたものだ。あしたはあしたの風がふく。あしたのことまで考へてはいられなかつた永い年月は、雨や風ぐらいでへこたれぬことだけは、教えてくれた。

壺井 栄「二十四の瞳」より抜粋

主催／  東海ラジオ

協賛／  美しい水を求めて
株式会社 **三 協**